

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	図画工作Ⅱ				
担当者氏名	吉田 和子				
授業方法	講義	単位・必選	1・選択必修	開講年次・開講期	1年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 専門基礎-2 豊かな人間性の醸成 ◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

図画工作Ⅰで学んだ基礎知識を活かし、個人の表現方法から、授業づくりの発想や実践力、また、チームで協力して行う活動力を培う。

《テキスト》

・文部科学省『小学校学習指導要領解説 図画工作編』
 日本文教出版 2017.7

《授業の到達目標》

・図画工作Ⅰの発展として、多様な素材や様々な表現方法を活かした造形活動ができる。

《参考図書》

・美術手帳編集部『図工室に行こう』美術出版社 2008
 ・佐藤剛外著『大好きになる図画と工作』東京図書出版 2014
 ・京都市立芸術大学美術教育研究会『美術資料』秀学社 2018
 ・樋口一成著『幼児造形の基礎』萌文書林 2018

・小学校図画工作科における子どもの姿を想定し、今後の学習指導案の作成を踏まえた教材試作ができる。

《授業時間外学習》

・日頃から、造形教育に興味を持ち関連書籍を読んだり、身近な子どもの造形作品展示や美術館の展覧会を鑑賞する。

《成績評価の方法》

- 各課題作品とレポート (70%)
- 通常の授業での学習態度、取組状況 (30%)

・造形的なアートワークショップのボランティアに参加体験をしよう。

《備考（教員経験の有無）》

この教科は、小学校・中学校の教員経験に基づき構成していません。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	ガイダンス	授業の進め方、実技課題の進め方、次回以降の準備物の指示など。 (ファイルの使い方、作品提出のまとめ方) 版画について
2	様々な版の技法①	身近な素材からの版について。用具・材料について
3	様々な版の技法②	簡易な版画
4	様々な版の技法③	小学校で展開される版画を中心に
5	様々な版の技法④	版画の応用
6	様々な画材応用①	図工の授業を想定し、素材研究。
7	様々な画材応用②	図工の授業を想定し、画材活用例。
8	様々な画材応用③	図工の授業を想定し、展開例と配慮事項。
9	立体作品の素材開発①	図工の授業を想定し、導入について。
10	立体作品の素材開発②	図工の授業を想定し、指導の注意点。
11	表現と鑑賞について	アートカードやワークシートの活用。 鑑賞指導案作成と(グループでの)実践。
12	題材を考える	図画工作の題材作り。 (グループで)題材を考え、(全員で)制作する。
13	制作する・導入を考える	想定した題材での授業導入を工夫する。導入時に必要な制作物も準備する。
14	紙面発表 (グループ発表)	想定した題材の授業の制作物と授業導入案を互いに検討する。(グループごとにプレゼンテーション)プリントつづり・提出物確認。
15	振り返り・まとめ	まとめレポート(小テスト)。